

平成24年度 おぎゃー献金推進活動

おぎゃー献金



幸せのおすそわけ

ホウホウ



子育て講演会

入場無料

記念品の準備がありますので
前もって参加の予約を
お願いします。
※当日参加も可です。

日時 2012.10.21 日 14:00~15:30

場所 三光荘 2階 アトリウムホール

主催 岡山県産婦人科医会

後援 公益財団法人 日母おぎゃー献金基金

駐車場あります



◎ 講演 1 14:00~14:30



子育て、ひとりで悩まないで

岡山大学大学院保健学研究科教授

中塚 幹也 先生

いろんな赤ちゃん、いろんなお母さん、いろんなお父さん。子育てには、いろんなことが起きるけれど、ひとりで悩まないで。周りには相談できる人たちがいます。

◎ 講演 2 14:30~15:30



家族で迎えるいのち —支え合う子育て・孫育て—

サンククリニック院長

山縣 威日 先生

こどもの人生は両親を始め、家族との出会い、迎えられる方で大きく変わります。こどもが生まれることで家族の人間関係もまた変わります。実りある子育て・孫育てに欠かせない絆づくりの原点をお話しましょう。





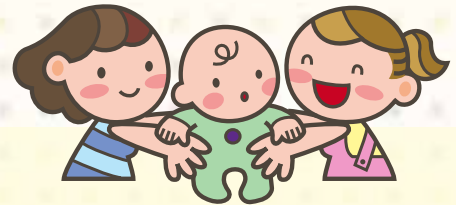
「おぎゃー献金」って、なんだろう？

(幸せのおすそわけ)

1963年に重症心身障がい児の三姉妹に救いの手をさしのべた一人の産婦人科医の善意が、「おぎゃー献金」の始まりです。日本産婦人科医会はこの運動を強力に推進すると共に、発足以来49年間で「おぎゃー献金」から補助金をうけた心身障がい児施設は延1,153件、研究機関は延736機関に及んでいます。ここ岡山県でも「ももぞの学園」をはじめ「津山みのり学園」「笠岡学園」「あゆみ園」「倉敷学園」「わかえの園」等にもあたたかな手をさしのべていただきました。

“おすそわけ”は、特に私たち日本人がごく自然に、日々の生活の中で使い、立ちふるまってきた言葉です。それは世界でもっともやさしく、おだやかな民族である証しでもあり誇りでもあります。そんな日本の心を、障がいを持つ子供たちのために、全国の産婦人科医師が推進している愛の運動としての活動が、“おぎゃー献金基金、幸せのおすそわけ”なのです。献金も大切な事ではありますが、障がいを持つ方を見かけたらそっと手をさしのべ、語りかけ、手にのっかるお手伝いができるといいですね。

Profile



なか つか みき や
中塚 幹也 先生

(岡山大学大学院保健学研究科 教授)

【略歴】

- 1961年 岡山県倉敷市生まれ
- 1986年 岡山大学医学部卒業、岡山大学病院産科婦人科
- 1994年 岡山大学大学院修了(医学博士)
- 1998年 岡山大学病院ジェンダークリニック
- 2004年 岡山県不妊専門相談センター「不妊・不育とこころの相談室」開設
- 2006年 岡山大学医学部保健学科教授



やま がた たけ ひ
山縣 威日 先生

(サンクリニック 院長)

【略歴】

- 1943年 北海道生まれ
- 1971年 札幌医科大学卒、その後5年間産婦人科研修を行なう
- 1976年 国立岡山病院(現国立病院岡山医療センター)小児科にて2年間の研修の際、母乳育児のバイオニア山内逸郎先生と出会い、母乳育児をはじめ母子関係に興味を持つ。
- 1978年 新宅産婦人科病院勤務
- 1984年 同院長。
- 1993年 産婦人科・小児科医院 医療法人 サン・クリニックを開院
- 2004年 ユニセフ/WHO「赤ちゃんにやさしい病院」の認定を受ける
母乳育児の推進、子育て支援、孫育て、性教育、マリッジカウンセリングなどをつうじて「女性の価値あるライフサイクル」と「絆を強めるお産と育児」の啓蒙、地域社会への貢献を目指す

【著書】

- 生命(いのち)はぐくむ「ひと」たちへ 吉備人出版(共著)
- 孫育ての時間 吉備人出版(共著)
- やすらぎ出産リハーサル(CD) 琵琶スタジオ



三光荘

〒703-8278

岡山市中区古京町 1-7-36

TEL.086-272-2271

